

## WHAT IS HOME ECONOMICS EDUCATION?

# 家政教育コースって？

家庭科は、生涯にわたって「実践し続ける教科」で、日常生活と密接に関連しています。

学んだことをすぐに教育実践につなげることができる実践的な学びができることが大きな特徴です。

授業では、実習・実験・演習など少人数による多様な学習形態を取り入れています。

また様々な知識・技能を習得するだけでなく、それらを自分自身の生活に取り入れ、より豊かな暮らしを営むことができるようになります。

衣食住や家族・保育など生活に直結した内容を“アクティブ”に学び、生活者としての実践力を身に付けた、教員を目指してみませんか？



### 生活に密着した分野の授業科目を数多く開講

家政教育コースには生活に密着した「被服」、「食物」、「住居」、「保育」、「家庭科教育」の5つの分野の授業があります。そのほか、アンケート調査に必要な知識を学ぶ生活調査研究法、高校免許に必要な生活機器論など幅広い授業が多く開講されています。

### 体験的な学び

それぞれの分野において、「被服学実験」、「食物学実験」、「住居学演習」、「保育学実習」、「家庭科教育学演習」等、多くの体験的実習授業があります。これらを通じて教育的実践力や専門性を養います。

### 少人数ゼミ指導による学びの深化

家政教育コースでは、3年時に各研究室(ゼミ)に分属し、各分野の専門的な内容を学びます。4年生では、卒業論文に取り組む過程で個々に教員の指導を受けます。教員も学生も人数が多くないため、教員と学生との距離は近いのが特徴です。何でも気軽に相談したり質問したりできます。所属教員の専門分野が広範囲にわたるため、多くの分野を幅広く学習できるのも家政教育コースの大きな特徴です。

#### 学びのポイント1

Points of learning

#### 学びのポイント2

Points of learning

#### 学びのポイント3

Points of learning

## 1 家庭科教育学・消費者教育学

Home Economics Education

家庭科は、生活のすべてが教育の対象になります。現代的な生活課題や子どもの発達段階に応じた学習内容や教育方法について研究します。



### LEARNING AREA 学習領域

家政教育コースでは、自分の興味や関心に応じて、3回生からゼミに所属し、専門性を追求しています。3回生の後期には卒業論文のテーマを決定し、実験や実習、調査やフィールドワークなどの実践的な方法を用いて研究を進めることにより、「生活の中から課題を見出して解決方法を創出し、提案する力」を身に付けることができます。

## 3 食物学

Food Science

私たちが摂取している食べ物に関わる課題は数多くあります。生活科学の観点からそれらの課題に取り組んでいます。



## 被服学 2

Clothing Study

人間と被服との関わりについて実験やアンケート調査を行い、快適な衣生活をおくるために消費者は何をすればいいか研究しています。



## 保育・家族学 4

Childcare & Family Studies

子どもが豊かに育つことのできる社会のあり方をテーマとしています。社会調査やフィールドワークを主体として研究を行っています。



# 目指せ 暮らしのプロフェッショナル!

## VOICE 卒業生 & 学生の声

### 卒業生からのメッセージ

大阪府小学校勤務

家政教育コースはとてもアットホームな学科です。少人数なのでみんなととても仲良く楽しいキャンパスライフが過ごせました。自身の経験や日常生活に関連付けながら、今教育現場で求められる「生きる力」について実践的に学べることが家庭科に関わる大きな魅力です。先生という仕事は、日々変化し続ける子どもたちの成長を、一番身近で感じることができます。子どもたちの輝く笑顔に囲まれながら働くことができ、充実した毎日を過ごしています!

### 在校生からのメッセージ

家政教育コース 3回生

家政教育コースでは、講義や実習を通して家庭科に関わる様々な分野について学ぶことができます。そのため物事を様々な視点からとらえる力が身につけていきます。家庭科は、生活そのものが学びの対象なので、学んだことをすぐに自分の生活で実践することができるのが魅力です。また毎回の講義の中で、新たな気づきや発見があるので1つ1つの講義がとても楽しいです。

## 授業のおもしろさ Interestingness of class

服部 晃次さん 2012年院卒 大阪府高校



### 1 大阪教育大に入ろうと思った動機

教員になるという目標を叶えるためでした。高校の教科書をすべて読み直して、専門教科を家庭科に決めました。料理も裁縫もほとんどしたことのない私でしたが、家庭科の教科書の生活を科学的・哲学的に捉える現実的な内容に、ワクワクしたのを覚えています。

### 2 大学生活で感じたこと

興味を持ったこと、やりたいと思ったこと、知りたいと思ったこと、考えたいと思ったことがあれば、それらをとことんまで突き詰めていけるような濃密な時間でした。特に家庭科は領域がめっちゃ広い! 多くの学びや経験をさせていただいた先生や仲間から感謝しています。

### 3 技術・家庭科の教員になって思うこと

男性の家庭科教員は珍しいから驚きかなあと思って現場に出たら、全然そんなことありませんでした。生徒は驚くような様子なく、すんなり受け入れてくれます。1年間の育休を取得したときも、生徒は驚きませんでした。生徒の方が固定概念なく、何事も柔軟に受け入れていくんだと気付かされました。それだけ、教師が生徒に与える影響は大きいということなんだと思います。

### 4 後輩へのエール

教師という仕事は、自分のすべての経験を活かすことが出来る仕事だと思います。大学では、知的な学びはもちろんですが、いろいろなことに興味を持って、いろいろなところに実際に行き、体験したりして、自分の好きなことを極める時間を多く作ってみてください!

